

# ギャラリー恵風 ニュースレター

## 2011.9

暦の上では秋となりましたが厳しい暑さが続いております。皆様にはお変わりございませんか。日頃は、何かとご芳情を賜り、誠にありがとうございます。

ごく当たり前の毎日の普通の生活を送れることに感謝し、自分に課せられた仕事をひとつひとつ丁寧に取り組む大切さを感じるこの頃です。

9月に開催します6つの展覧会をご案内申し上げます。

8月30日からは、市瀬博之七回忌展です。将来を夢見ながらバイク事故で亡くなった市瀬さんの作品と、共に青春を過ごした仲間たち、そして先生の作品を交えて、彼を偲びつつ、今生きる自分たちを確かめ合います。

6日からも遺作展、絞染作家山口通恵さんの三回忌展です。恵風での次の個展計画中に病のため世界されました。自分に厳しく、学生にはとても熱心に指導されていた姿が印象的でした。すばらしい山口さんの作品を再発見できれば幸いです。

以上は、1階・2階のスペースを使用しての展示です。次、1階、13日から、日下部一司さんと田中朝子さんの二人展。今回は作品というより、新しい試み「会話」だそうです。案内状の文字が小さいのですが、序曲ともいべきものですので、是非お読みいただけましたら有難いです。さて、お二人の意気の合ったひそひそ話が聞こえるでしょうか。

27日からは、若手作家連続企画 Vol.7、市川裕隆展です。墨絵のような鉛筆画、力の入った新シリーズ - 花鳥風月 - を発表します。

2階では、13日から恵風では2回目の登場、渡邊剛志さんの染めから縫製まですべてハンドメイドの明るくて楽しい作品展です。あなたのお気に入りを見つけ下さい。

20日からは、いつもおらかな武田浪さんと、芸術の話題になると口調に熱気を帯びる藤波晃さんの二人展。これまで歩いて来られた道は異なりますが、個性豊かなお二人の競演が楽しみです。

今月は年齢も作品ジャンルも幅広く、ユニークな展覧会が目白押しです。

みなさま、ご多忙とは存じますが、ぜひご高覧いただけますよう心よりお待ち申し上げます。

敬具 野村恵子

発行：ギャラリー恵風

発行日：2011.8.13

〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL：075-771-1011

FAX：075-771-0358

E-mail：g-keifu@hotmail.co.jp

URL：http://keifu.blog86.fc2.com

## 1F・2F

8月30日(火) - 9月4日(日)

ニットで散歩 たまにスケッチ ねぐせとめがね ちょっとひるね  
残暑お見舞い申し上げます

-市瀬博之七回忌展

残暑お見舞い申し上げます。  
市瀬博之という画家が25歳の若さでこの世を去ってからこの秋で6年になります。  
七回忌を迎え彼の作品と、彼の大学時代の先生や共に絵を学んだ同級生がそれぞれの今を持ち寄って展覧会をします。  
ごくごく私的なものではありませんが、6年という年月の間に変わっていったものや変わらずにある大切な何かを感じていただければうれしく思います。

- ◆市瀬博之 プロフィール ICHINOSE Hiroyuki  
1979年9月28日 福岡県久留米市(母の生家)にて生まれる  
2000年4月 京都造形芸術大学芸術学部美術・工芸学科 洋画コース入学  
2001年8月 『蠢き展』(鈴木優子、小山布紗子、嘉戸一郎、市瀬博之・ギャラリー TERA)  
2002年12月 『刹那的アンニュイ発生装置』(嘉戸一郎、市瀬博之・ギャラリー恵風)  
2003年5月 京展入選(京都市立美術館)  
2004年3月 京都造形芸術大学芸術学部美術・工芸学科 洋画コース卒業  
2004年4月 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修士課程入学

9月6日(火) - 9月11日(日)

色と光の染色 - 山口通恵を偲ぶ

山口通恵(1950~2008)といえば「光の染色」がまず思いうかびます。瓜生山の望天館の屋上で、夏には照りつける太陽の下で、またあるときは比叡おろしの寒風に飛ばされまいと、文字通り天を望み雲を読みながら、はるかかなたの宇宙からのメッセージを、一枚の布に焼き付けようと、奮闘していた姿が目につかびます。没後三年、1990年代の「光の染色」を中心に山口通恵の仕事をふりかえってみたいと思います。(小名木陽一)

- 山口通恵 プロフィール YAMAGUCHI Michie  
京都生まれ(1950~2008)  
工芸作家、京都国際工芸センター会員、民族芸術学会所属

## 1F

9月13日(火) - 9月25日(日) ※9/19(月)休廊

plus

日下部一司 + 田中朝子

二人展です。

この二人展では「一緒に作品をつくる」や「一緒に作品を並べる」ではなく、シンプルに「会話」をしようと思います。それは「対談」の様な外の観客に向けられたものではなく、電車待ちなどの時間つぶしに為される様な「おしゃべり」です。内容云々というより、この内側を向いた会話が他人の耳にどの様に聞こえるのか(いえ、会話自体聞こえるのかどうか)、そんな事に興味があり、ただいま二人で「会話」をしています。

- 日下部一司 KUSAKABE Kazushi  
1953年生まれ  
1976年より京阪神を中心に作品発表を行う。  
[最近の展覧会]  
2008 TAMA VIVANT 2008(多摩美術大学/東京)  
2009 個展(Oギャラリー eyes/大阪)  
個展(信濃橋画廊/大阪)  
個展(京都造形芸術大学芸術館 one piece gallery/京都)

- 2005年9月13日 午前6時45分 永眠(享年25歳)  
2005年12月 市瀬博之遺作展(ギャラリー RAKU)  
2006年9月 『市瀬博之のしごと-自然・風景・心-』(ギャラリー恵風)  
2006年10月 『自然からのアピール-市瀬博之の目-』(Stem gallery)

◆出品者リスト  
市瀬 博之

川村 悦子(京都造形芸術大学教授)  
木村 克朗(京都造形芸術大学教授)

(京都造形芸術大学洋画コース卒業生)

池田 里奈 江本 祥司 北村 英哲  
木本 菜美 坂井 香織 篠原 涼子  
鈴木 優子 高橋 文 西野 由衣子  
橋本 祐介 林 布紗子 東田 幸  
平田 香織 武藤 ゆかり 山岡 明日香  
芳川 聡子

- 1971年 成安女子短期大学意匠科卒業  
1990年 立命館大学文学部卒業  
2002年 京都造形芸術大学美術工芸学科教授

- 主な展覧会など  
1984年 山口通恵個展『浸透-絹の貫頭衣』(京都国際工芸センター・ワコール銀座アートスペース)  
1992年・1993年 個展-光の染色(ワコール銀座アートスペース・ギャラリーマロニエ・ギャラリースペース21・高松市美術館市民ギャラリー)  
1992年~2004年 染・清流会第2回~14回出品  
1999年 京紅板締め展(京都造形芸術大学ギャラリー楽)  
2002年 個展-ぎんねず装飾布(ワコール銀座アートスペース)  
2004年 個展-淡色の絞染の試み  
\*その他、個展、展覧会出品多数

コレクション：国立国際美術館、染・清流館、高松市役所

- 個展(ギャラリーヤマグチクンストパウ/大阪)  
reseau 2(Oギャラリー eyes/大阪)  
2010 個展(kunst-bau/tokyo/東京)  
個展(信濃橋画廊画廊5/大阪)  
BOOK ART 2010 Japan-Korea  
(ギャラリーヤマグチクンストパウ/大阪)

- 田中朝子 TANAKA Asako  
1972年生まれ  
1998年より京阪神を中心に作品発表を行う。  
[最近の展覧会]  
2008 「風~明日への軌跡」(ギャラリー恵風/京都)  
2009 「余韻/響き」(Hyun Gallery/韓国ソウル)  
2009 Art Initiative Project Exhibition as Media 「drowning room」(神戸アートビレッジセンター/兵庫)  
2009 個展「index」(ギャラリーX/東京)  
2010 「ART COURT FRONTIER 2010」(アートコートギャラリー/大阪)  
2010 「volatile colors」(マサコシズキギャラリー/愛知)  
2010 BOOK ART 2010 Japan-Korea  
(ギャラリーヤマグチクンストパウ/大阪)  
2010 個展「rooms」(ギャラリーノマル/大阪)

# 2F

9月13日(火) - 9月18日(日)

## 渡邊 剛志 展

シルクスクリーン技法を用いて、1つずつ手捺染でプリントしており、デザイン・プリント・縫製すべてハンドメイドで作っています。

身につけて、ワクワクしたり、どこかに出かけたくくなるようなデザインになればいいなという思いを込めて作っています。  
(渡邊)

渡邊剛志 WATANABE Tsuyoshi

略歴

- 2008 Gallery はねうさぎ 個展 (京都)
- 2009 Gallery 風雅 染織グループ展 (大阪)  
Gallery maronie3F 日本画・洋画・染織 3人展 (京都)  
Gallery maronie5F 染織学科グループ展  
Kyoto Current 展出品 (京都市美術館別館)  
一澤信三朗帆布 学生コラボレーション参加  
(京都高島屋アートオークション出品)
- 2010 Gallery 恵風 日本画・染織 2人展  
Gallery はねうさぎ Supermarket 展

9月20日(火) - 10月2日(日) ※9/26(月) 休廊

## 「武田浪」&「藤波晃」 二人展

私の内部表現は、時の境界を取り払い過ぎゆく、一刻から次の一刻への移動の瞬時を思考する。誕生、存在、死、過去、現在、未来と結びつき「ない」ものから「ある」ものとなって存在する。(武田)

●武田浪 TAKEDA Rou

1942年大阪生まれ。1963年近畿大学理工学部金属工学科中退。1964年工業デザインを学びながら陶芸家・東憲に師事。専門学校でデザインを教える。1969年渡米、カリフォルニアオリジナル社、カール・ウイツセラミック研究所、トレジャークラフト社、ポトリクラフト社でデザインを担当。セラミックデザイナーとして永住権獲得しロスアンゼルスにて作陶。1975年在米の八島太郎画伯に師事する。ウエストウッドセラミックスギャラリー(ロスアンゼルス)で個展。1977年帰国。滋賀県近江舞子に築窯。以後京都を中心に各地で個展、二人展、グループ展。近年、素材の幅を広げた創作を思考している。加古川市の職員会館、常住寺、齋場等の陶壁作成。沖縄の本部記念病院陶板を制作。1997年頃に新しい土との出会いがあった。風情と土肌の生命感はこのイメージから「鬼ヶ島」と命名。以後「鬼ヶ島」の可能性を追求しつづけている。

『徒然に』

京都で生まれ育った私は、その環境や文化、歴史等に自然から培われて生きてきました。そして、京都人としての独特の思考傾向や美意識、そして、感覚が自然に身に付いたのかも知れません。勿論、欧米の歴史や文化、芸術や文明、そして思想にも興味は充分ありますが、しかし、現代美術の動向やコンテンポラリー・モード等には全く関心が有りません。私は元来、個人主義的で、物事に対して熱烈に成る事や、世間や通俗的な事柄を極力嫌う、虚無的な人間です。難しい事ですが、日常的には、知的好奇心の赴く所に、出来る限り自由に楽しく生きて思っています。故に、私にとって絵画制作とは、余枝に成れば、成るほど良い事だと考えているのです。(藤波)

●藤波晃 FUJINAMI Akira

1958年京都学芸大学(京都教育大学)特修美術科西洋画卒業。2005年大阪芸術大学教授を定年退職する。2007年『藤波晃作品展』がニューヨーク市で開催された。2007年京都市美術館に「1960年代の作品群」が収蔵された。2008年真宗本願寺派、北谷山「報恩寺」本堂襖絵8面を制作する。2009年秀明文化財団より『秀明文化賞』を受賞する。MIHO MUSEUMに『冬の花火』(1996年)が収蔵された。2010年ポーランド国立美術館に、2009年制作版画作品『夏の終わり』と『退屈な昼下がり』の2点が収蔵された。作品展開催、各種招待出品多数。現在、京都シニア大学学長、往年の名作映画劇場『FILM d'ART』主宰、『ファインド・アイ京都』創始会員、「民族芸術学会」会員、「京都日仏協会」会員。

### 今後のスケジュール

#### <1F ギャラリー>

- 10/11 ~ 10/16 比佐水音 展 (日本画)
- 10/18 ~ 10/23 清水美沙 展 (日本画)
- 10/25 ~ 11/6 堀香子 展 (陶芸)

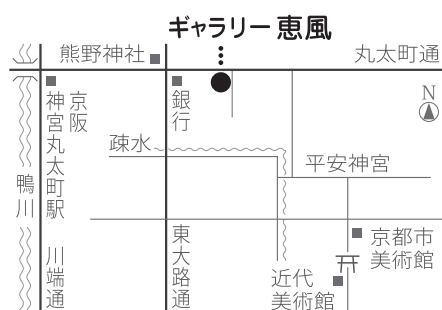
#### <2F ギャラリー>

- 10/4 ~ 10/9 阿部順子 展 (フレスコ画)
- 10/11 ~ 10/16 直海香・東端哉子・堀井陽子 展 (日本画)
- 10/18 ~ 10/23 福田季生 展 (日本画)
- 10/25 ~ 11/6 第9回風〜明日への軌跡  
金光男・西出元・濱田弘明 (版画)

お楽しみに!!

※楽しい企画、展覧会のご感想やご意見・ご要望などございましたら、ぜひお聞かせ下さい。今後の活動に生かしていきたいと存じます。

### アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅より徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分  
OPEN: 12:00~19:00 (最終日 18:00まで)  
月曜休廊

# 1F

9月27日(火) - 10月9日(日) ※10/3(月) 休廊

若手作家連続企画 Vol.7

## 市川裕隆 展 -花鳥風月-

自分にとって作家活動とは何なのか。何の為に絵を描いているのか。何の為に・・・。  
結局は、自分の存在意義の為に描いている。  
鉛筆の紡ぎだす線や重なりが好きで描いている。  
自分が感じたものを記録する為に描いている。  
昔と今をつなぐために描いている。  
もしよろしければ、市川裕隆が感じた線を見ていただけたら・・・  
(市川)

市川裕隆 ICHIKAWA Hirota

個展

- 2008 『市川裕隆展』 -Art Of Pencils-  
(画廊 編 / 大阪 日本橋)

- 2009 『市川裕隆展 vol.2』 -Life あなたは、どう生きていますか。- (SoHo art gallery café / 大阪 天王寺区)
- 2010 『市川裕隆展 vol.3』 -Welcome to my memories.- (art gallery そら / 大阪 谷町六丁目)
- 2010 『市川裕隆展 vol.4』 -Portraiture-  
(ギャラリーいろはに / 大阪 堺)
- 2011 e・g・g・o 市川裕隆展 (大雅堂 / 京都 祇園) グループ展
- 2010 TWO PEACE 展 with Yumi Kubota  
(松風ギャラリー / 兵庫 加古川)
- 2011 TRANSNATIONAL ART 2011  
(大阪府立現代美術センター / 大阪 谷町4丁目)
- 2011 彼方からの対話 Beyond dialogue 2  
(ギャラリー菊 / 大阪 西天満)